

ドッジボールでスポーツの素晴らしさを身に着けよう

—練習は不可能を可能にする—



開倫ユネスコ協会
会長 林 明夫

第2回開倫ユネスコ杯福島オープンドッジボール選手権大会にご参加頂き、ありがとうございます。皆様は、ドッジボールをはじめ、スポーツの素晴らしさは何だとお考えですか。私は、次の3つであると考えます。

第1は、スポーツを通して「練習は不可能を可能にする」ということを実感できることだと思えます。ドッジボールを練習すればするほど、スキル（技術）がどんどん向上します。

第2は、「フェア・プレーの精神」です。ドッジボールをはじめ、すべてのスポーツにはルールがあり、ルールの中でのプレーが求められます。また、ルールを守るだけでなく、卑しいプレーをしないことが求められます。ルールの中でプレーをすること、卑しいプレーをしないことを「フェア・プレーの精神」というと考えます。ドッジボールを通して「フェア・プレーの精神」を身に付けてください。

第3は、「よき友」です。ドッジボールをはじめスポーツをすることで、同じスポーツに打ち込む「よき友」ができます。

皆様が今日ここで思い切りプレーができるのは、これまで皆様を育ててくださったご家族の皆様、指導してくださったコーチ・監督の皆様といった周りの人達のお陰です。感謝の気持ちを大切に、今日一日、練習の成果を存分に発揮し、元気にプレーをしてください。

また、大会にご参加くださいました選手・保護者・監督・コーチの皆様、そして、審判員や関係各位の皆様にご心より御礼を申し上げます。ありがとうございました。今後とも皆様のご指導ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

開倫塾 塾長
学校法人有朋学園 有朋高等学院 理事長